

## ZANDEN Model 120 の導入(3)

### －DSD 録音－

#### 1. 始めに

ZANDEN のフォノイコライザー Model 120 を導入いたしましたので、その効果を記録するために DSD 録音を実施しました。

#### 2. ZANDEN Model 120 の録音と試聴方法

設置場所と接続に関しては前報(2)のとおりで、300B シングルアンプに接続する代わりに DA-3000 に入力しようとしてしました。

LP-12→(フォノケーブル)→AACU-1000→Model120(アンバランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランス／バランス変換ケーブル)→P&フェーダー(バランス入力端子→バランス出力端子)→BACU-2000→(バランスケーブル)→DA-3000(バランス入力端子)

しかし、P&フェーダーのバランス出力端子と DA-3000 バランス入力端子がともにメスで接続できません。

そこで次のようにバランス／アンバランス変換プラグを使用することにしました。

LP-12→(フォノケーブル)→AACU-1000→Model120(アンバランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランス／バランス変換ケーブル)→P&フェーダー(バランス入力端子→バランス出力端子)→(バランス／アンバランス変換プラグ)→(アンバランスケーブル)→DA-3000(アンバランス入力端子)

すると今度は DA-3000 の音がでません。いろいろ調べた結果、P&フェーダーの端子は逆相になっているようなので、逆相のバランス／アンバランス変換プラグを探し出して装着した結果、音は出るようになりましたが、今度は DA-3000 に入力される位相が逆転しています。そこで、下記のように、Model 120 の位相は変換プラグを使用しない通常の再生と逆転した設定をして録音をしました。

なお、DA-3000 には、GPS-777 より 44.1KHz のクロックを入力しています。

録音対象としては、下記の盤を選定しました。

愛と自然の歌 倍賞千恵子

キングレコード SKA-104

ファリャ：三角帽子 アンセルメ指揮スイスロマンド

LONDON SLC-1138

バッハ：チェンバロ協奏曲 ピノック指揮 English Concert

ARCHIV 28MA 0020 日本 POLYDOL 盤

ベーレン・ゲスリン ミトマニア

harmonia mundi KUX-3248-H

Model 120 の設定は、これまでの経過と ZANDEN の資料などを基に次のとおりとし、第 4 時定数はヒアリングで決めました。

倍賞千恵子	TELDEC	逆相→正相	High
三角帽子	DECCA	逆相→正相	High
チェンバロ協奏曲	TELDEC	逆相→正相	High
ミトマニア	TELDEC	正相→逆相	High

DA-3000 の SD メモリーに録音された DSF5.6MHz 音源を fidata HFAS1-S10 にコピーし、Brooklyn DAC+経由で再生します。

### 3. ZANDEN Model 120 の録音と試聴結果

試聴は、これまで[バランスアナログアキュライザーの活用\(2\)](#)などで報告してきた Stage1030 と Brooklyn DAC+の組み合わせでの録音の相当する DSD 音源との比較で行います。

上記のように変則的な接続ですので、Model 120 の実力を十分に反映していない恐れもあります。

三角帽子、チェンバロ協奏曲、ミトマニアについては、Stage1030 と Brooklyn DAC+の組み合わせで、バランスアナログアキュライザーを使用して DSD 録音したものがあつて、それらとの比較では、位相を合わせたことによって音の焦点があつていす。また、イコライザーカーブを合わせたこととフォノイコライザー自体の能力の違いが、音楽の表情の正確な表現にでています。すなわち、強調性のないバランスの取れた自然な表現になっています。

さらに、[音源の位相チェック実験\(9\)](#)では、三角帽子、チェンバロ協奏曲、ミトマニアについては、Stage1030 と Brooklyn DAC+の組み合わせでバランスアナログアキュライザーを使用し、位相反転ケーブルを用いて、DSD 録音したものがあつたので、それらとも比較してみましたが、位相の問題はキャンセルしていても、イコライザーカーブを合わせたこととフォノイコライザー自体の能力の違いが、音楽の表情の正確な表現にでています。

倍賞千恵子については、BACU-2000 導入以前の DSD 録音しかありませんが、Model 120 の効果が確認できました。

### 4. まとめ

変則的な接続でしたが、イコライザーカーブと位相を合わせたことで Model 120 の実力を反映していることが、DSD 録音で記録されていました。

以上